

八田原ダムにおける防災操作による治水効果(令和3年9月2日~4日 秋雨前線)

速報

八田原ダム流域では、秋雨前線の影響により令和3年9月2日の未明から雨が降り始め、4日の未明には激しい雨が降り、降り始めから4日までの流域平均総雨量は159mmを記録しました。

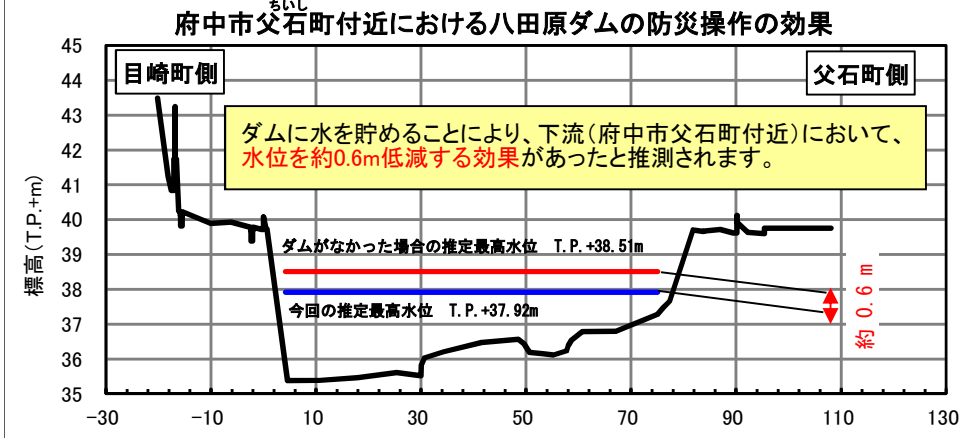
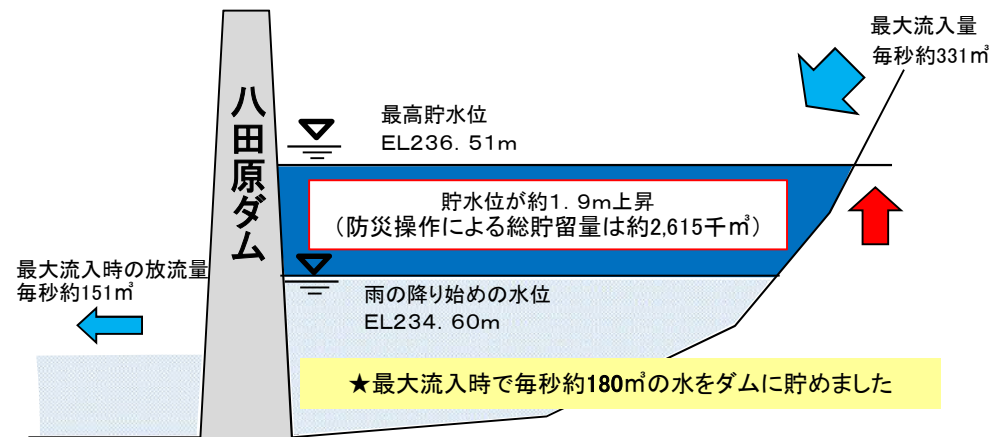
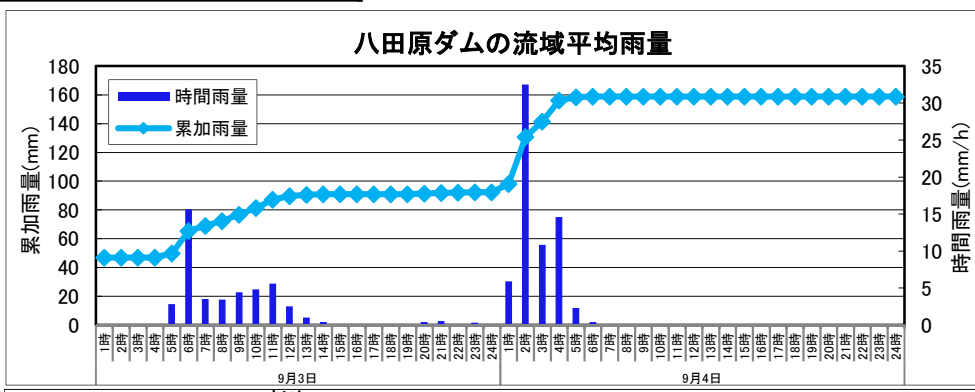
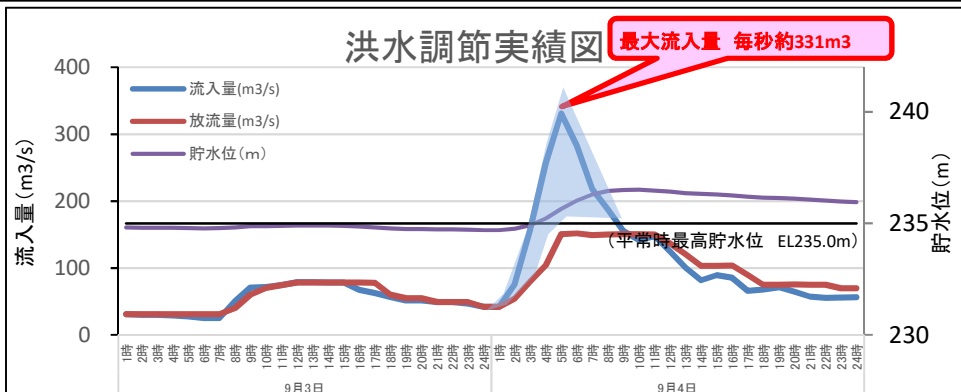
八田原ダムでは、ダムへ入ってきた水の量が最大で毎秒約331m³に達しました。

この洪水において、八田原ダムにおいては防災操作※をおこない、このうち、最大流入時で毎秒約180m³の水をダムに貯め込みました。

この結果、府中市父石町付近で水位を約0.6m低減する効果があったと推測されます。

※『防災操作』とは、大雨などによりダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、放流量を流入量より小さくしてダム下流の河川に流す操作です。

八田原ダム位置図



※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。